

臨床研究に関する公開情報

横浜市立大学附属病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回、他施設と共同で下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名] 呼吸器外科手術における手術成績のアプローチ別比較検討

[研究責任者] 横須賀共済病院 呼吸器外科 部長 石川善啓

[研究の概要] 呼吸器外科領域の手術では胸の中への到達法として開胸手術に加え胸腔鏡下・ロボット支援下手術など数か所の小さな傷をつける低侵襲アプローチが普及してきましたが、近年は1~2か所の傷のみで行う創削減式の胸腔鏡下・ロボット支援下手術も開発されています。一方で、従来からの開胸手術、多孔式胸腔鏡下・ロボット支援下手術にも特有の利点があると考えられます。本研究ではそれら新規アプローチ手術を含めて呼吸器外科手術の安全性や予後など様々な因子について包括的に比較検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺悪性腫瘍、肺良性腫瘍、気胸、膿胸などの呼吸器疾患の患者さまで、2005年1月1日から2026年1月5日までに当院で手術を受けた方

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、肺活量検査等）、術式、周術期因子（入院期間、疼痛の性質と程度、術後合併症の有無）、病理情報、予後（生存成績、再発の有無、再発までの期間）等

[研究の期間] 横浜市立大学附属病院 臨床研究倫理審査委員会 承認後から

2027年12月31日まで

[研究の発表]

- 第 79 回日本胸部外科学会定期学術集会にて口頭発表

2026 年 10 月 20 日から 2026 年 10 月 22 日（国立京都国際会館）

- 英文医学雑誌 Journal of Visualized Surgery にて論文発表 など

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院

電話 045-787-2800（代表）（平日 午前 8 時 30 分から午後 17 時 15 分まで）

当院研究責任者

呼吸器外科 講師 足立広幸

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。

以上